

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2003-515334(P2003-515334A)

【公表日】平成15年5月7日(2003.5.7)

【出願番号】特願2001-541501(P2001-541501)

【国際特許分類】

<b>C 12 P</b>	<b>17/06</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 07 C</b>	<b>67/52</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 07 C</b>	<b>67/58</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 07 C</b>	<b>67/60</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 07 C</b>	<b>69/30</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>C 07 D</b>	<b>309/30</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

C 12 P	17/06	
C 07 C	67/52	
C 07 C	67/58	
C 07 C	67/60	
C 07 C	69/30	
C 07 D	309/30	D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成17年9月16日(2005.9.16)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

上記生成物の純度を改良する結晶化によって単離されるか、または他の手段で単離されるかは、本発明を実施する際単離されたプラバスタチンナトリウムが、プラバスタチンラクトンを実質的に伴わないことである。以下の実験で実証されているように、プラバスタチンナトリウムが、全不純物の含量を0.5%(w/w)未満で単離される。さらにプラバスタチンナトリウムを、本発明の好ましい実施態様を遵守することによって、全不純物含量0.2%(w/w)以下で単離することができ、その2つを、実施例1と15で例示的に示している。全不純物含量の一部である主な不純物は、エピプラバスタチンナトリウム、3-OHコンパクチンナトリウム、6-ヒドロキシイソコンパクチンナトリウムおよびプラバスタチンラクトンを含んでいる。